

フルハイビジョン
SDカードレコーダー内蔵カメラ
KER-300シリーズ

取扱説明書
(ソフト編)



KELC-E

1. ソフトの概要

本取扱説明書では、「フルハイビジョン SD カードレコーダー内蔵カメラ KER-300 シリーズ」用ソフトについて解説します。

製品付属の CD 内には、以下5種類のソフト用インストーラーが入っています。

○ KER-300 シリーズ用ファインダーソフト

- ・ IP Manager
ネットワーク内の「KER-300」シリーズを検索し、IP アドレスの変更やカメラへのアクセスを行います。

○ SD カード認識用ソフト

- ・ Ext2Fsd-0.68
「KER-300」シリーズで使用する SD カードは、Windows OS のパソコンでは認識することができません。
このソフトをインストールすることで、通常の SD カードや USB メモリーのように外部保存媒体として認識できるようになります。
- ・ FreeOTFE_5_21
「KER-300」シリーズでは、SD カードに暗号化を施す機能が搭載されていません。
暗号化された SD カードは通常のパソコンでは認識されないため、SD カードの盗難や紛失時に、データの流出を防止することができます。
このソフトを使用することで、SD カードの暗号化を解除し、パソコンに正常に認識されるようになります。
- ・ Digital_sign_Disable
Windows7 の 64bit 版搭載のパソコンに「FreeOTFE_5_21」をインストールする際に使用します。

※ 注意

SD カード認識用ソフトがインストールされていないパソコンに「KER-300」シリーズで録画した SD カードを接続しても正常に認識されず、録画データを読み出すことができません。
『このドライブはフォーマットされていません。フォーマットしますか?』の警告メッセージが表示されることがあり、ここで「はい」を選択すると、録画したデータが全て消去されてしまうので、ご注意ください。

○ KER-300 シリーズ用検索再生ソフト

- ・ Vplayer
「KER-300」シリーズの録画データは、「MP4 ファイル形式」ですので、Windows パソコンにプリインストールされている「Windows Media Player」を最新のバージョンにアップデートすることで再生可能です。
このソフトを使用することで、イベント時の検索や静止画キャプチャー等の操作を容易に行うことができます。

2. システム条件

お使いになるパソコンは、以下の仕様を満たしている必要があります。

- OS
 - Windows Vista (32bit) Ultimate、Business Edition
 - Windows 7 (32/64bit) Ultimate、Professional Edition
 - Windows 8 / 8.1 (RT を除く)
- プロセッサ
 - Intel Core2 Duo 2.4GHz 以上
 - Intel Corei7 2.8GHz 以上
- メモリ
 - 2GB 以上
- 画面解像度
 - 1280×1024pix 以上 (32bit カラー)
- Web ブラウザー
 - Microsoft Internet Explorer Ver. 11 以上
 - Safari Ver. 4.0
 - Google Chrome Ver. 4.0

上記パソコンの仕様は、あくまでも必要なスペックであり、正常な動作を保証するものではありません。

既にインストールされている他のソフトとの干渉により、正常に動作しない場合がありますので、その場合は他のパソコンにインストールして試してください。
また、セキュリティーソフトによるブロックについては、例外措置または一部制限を解除しなければならない可能性がありますので、予めご了承ください。

尚、ソフトのインストールは、必ず管理者権限で行ってください。

本ソフトのインストールに起因する、如何なる障害や損失についても、弊社は一切保障いたしません。

インストール前にパソコンのバックアップや復元ポイントの作成等、予防措置を行ってください。

インストール・運用については、お客様の自己責任において行って頂くこととなります。

※ ソフトをインストールする前に、必ずお使いのパソコンに「復元ポイント」を設定しておいてください。

作成・復元方法については、下記 Microsoft 社の HP を参照してください。

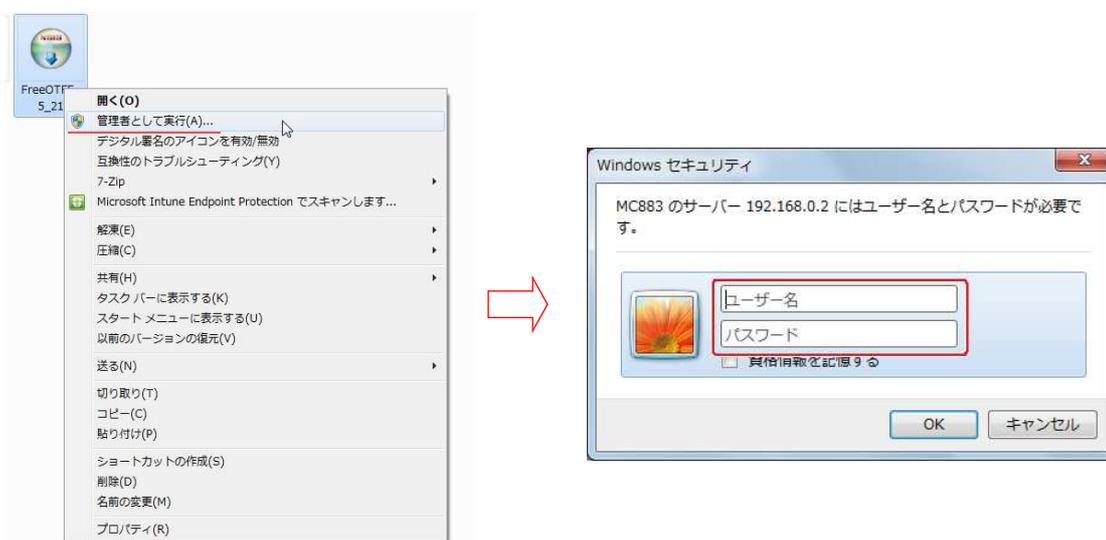
<http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows7/create-a-restore-point>

<http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows/what-is-system-restore#1TC=windows-7>

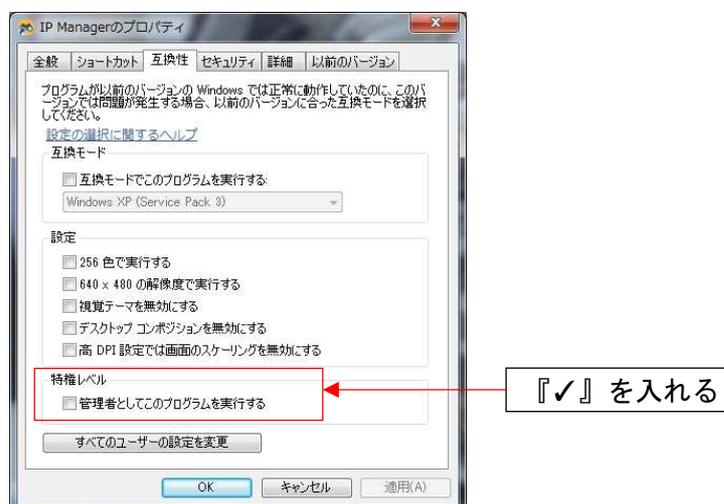
3. ソフトのインストール

各ソフトのインストール及び使用は、必ず管理者権限で行ってください。
パソコンのログイン時に管理者の ID とパスワードを使用するか、実行時に管理者の ID とパスワードを都度入力する必要があります。
管理者実行を行わないと、正常なインストール・動作ができないことがありますので、必ず「管理者として実行」してください。

ソフトのインストールを行う際には、インストーラーアイコンの上で右クリックし、表示されるメニューから『管理者として実行』を選択します。
管理者の ID でパソコンにログインしていない場合は、管理者のユーザー名とパスワードを要求されますので、入力してください。



ソフトのインストール後、使用する際にも管理者実行が必要です。
インストール後に作成されたアイコン上で右クリックし、プロパティを開きます。
互換性タブ内の『管理者としてこのプログラムを実行する』にチェックを入れ、『適用』⇒『OK』をクリックしてください。
管理者実行を行わないと、ソフトが正常に機能しない場合がありますので、各ソフトで、必ずこの操作を行ってください。



3.1 IP Manager

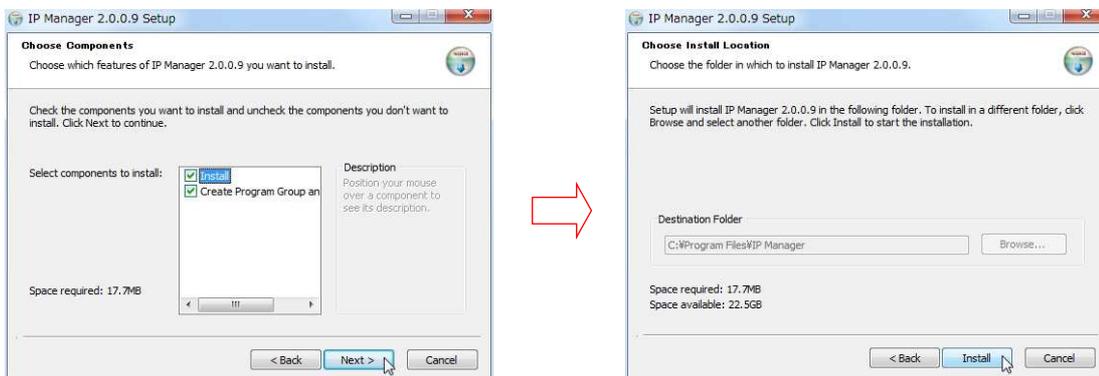
ネットワーク内の「KER-300」シリーズの検索、IP アドレスの変更等を行うためのソフトです。

カメラへのアクセス、ネットワーク設定を容易に行うことができます。

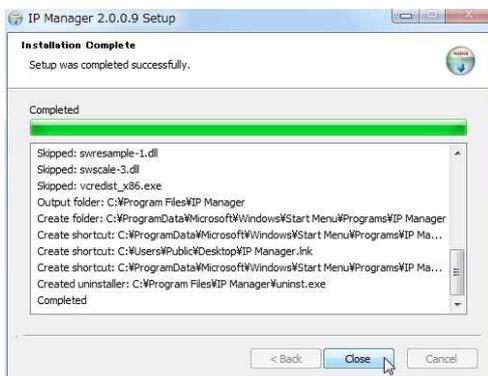
- 1) CD 内のセットアップアイコンをダブルクリックします。
セットアップ画面が起動しますので、『Next』をクリックしてください。



- 2) 画面の指示に従い、『Next』・『Install』をクリックしてインストールを開始してください。



- 3) インストールが完了したら、『Close』をクリックしてセットアップを終了します。



- 4) 4 頁の手順を参考に、必ずプロパティ内の『管理者としてこのプログラムを実行する』にチェックを入れてください。

3.2 Ext2Fsd-0.68

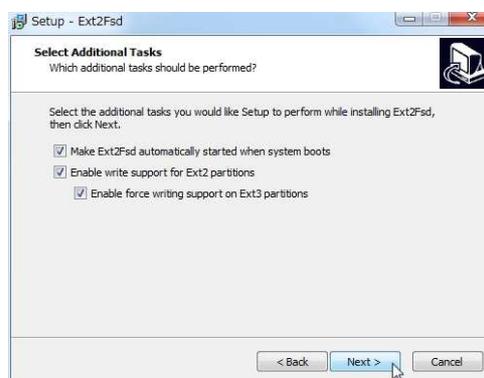
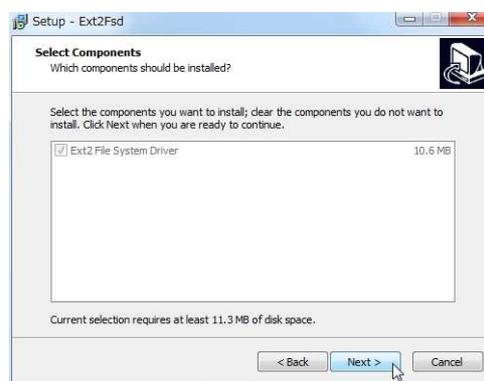
「KER-300」シリーズで録画したデータの入ったSDカードを抜き取り、パソコンに認識させるためのソフトです。

このソフトはインストールのみで、通常は起動する必要はありません。

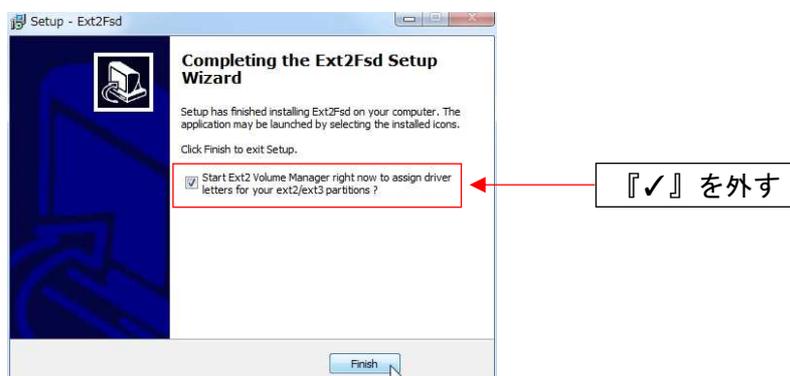
- 1) 「Ext2Fsd-0.68」をインストールします。
CD内のセットアップアイコン上で右クリックし、『管理者実行』をクリックしてください。
セットアップ画面が起動しますので、『Next』をクリックしてください。



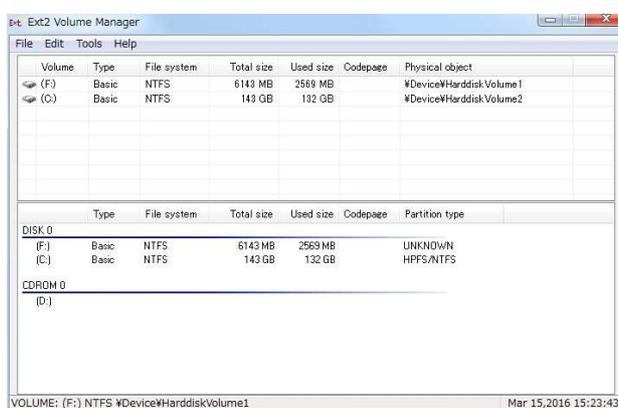
- 2) 画面の指示に従い、『Next』をクリックしてインストールを開始してください。



- 3) インストールが完了したら、画面中央付近の『✓』を外し、『Finish』をクリックしてセットアップを終了します。



『✓』が入った状態で『Finish』をクリックすると、「Ext2Fsd」が起動します。その場合は画面右上の『×』をクリックし、ウィンドウを閉じてください。



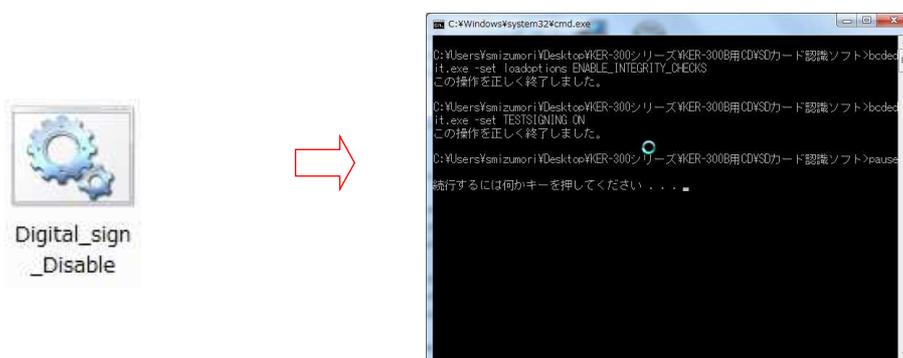
3.3 FreeOTFE_5_21 / Digital_sign_Disable

「KER-300」シリーズで、暗号化した SD カードの暗号化を解除するためのソフトです。暗号化を有効にした状態で録画すると、このソフトで解除しなければ、パソコンに SD カードが認識されません。暗号化機能を使用しない場合は、本ソフトのインストールは不要です。

- 1) 使用するパソコンが『Windows7 64bit 版』の場合、必ず「Digital_sign_Disable」を先にインストールしてください。『Windows7 32bit 版』をお使いの場合は、手順 4) からインストールを始めます。

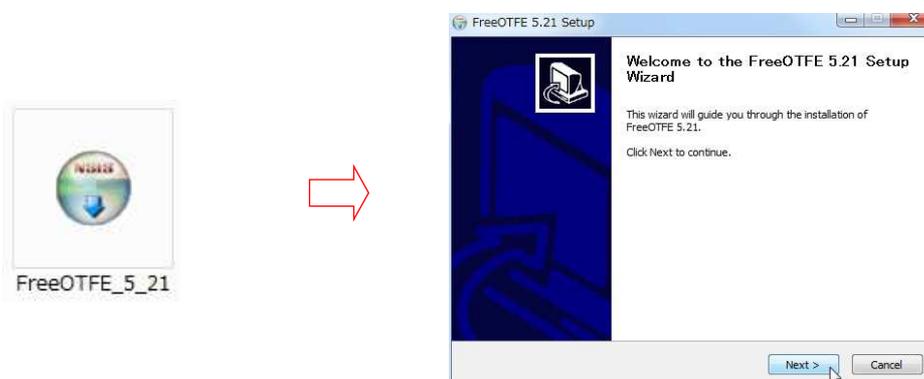
※ 「Digital_sign_Disable」をインストールすると、パソコンは「テストモード」に切り替わります。基本動作には問題ありませんが、稀に音声等に障害が発生することがありますので、あらかじめご了承ください。テストモードを解除するには、「Digital_sign_Disable」及び「FreeOTFE」のアンインストールと、関連するフォルダー内のデータの削除が必要になりますので、ご注意ください。

- 2) 「Digital_sign_Disable」のアイコン上で右クリックし、『管理者実行』をクリックしてください。
下図のウインドウ起動し、『この操作を正常に終了しました』と表示されれば、インストールは終了です。
何れかのキーを押すと、ウインドウを閉じます。

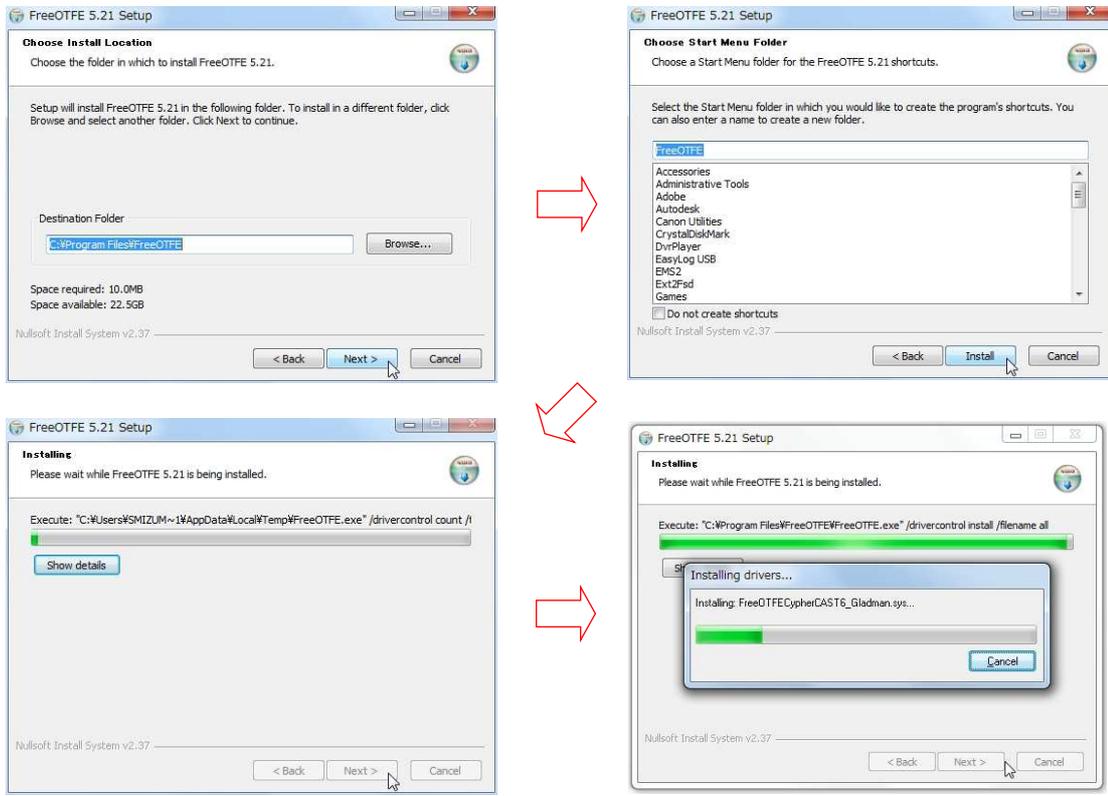


- ※ Windows8.1 及び一部の Windows8 のパソコンでは、「セキュアブート」機能が作動し、「Digital_sign_Disable」が正常にインストールできない場合があります。
(お使いになるパソコンの設定により異なりますので、必ずしも発生するわけではありません)
その場合は、「セキュアブート」の無効化を行う必要がありますので、本書12頁「補足 セキュアブート機能の無効化」の手順で解除操作を行ってから、「Digital_sign_Disable」をインストールしてください。

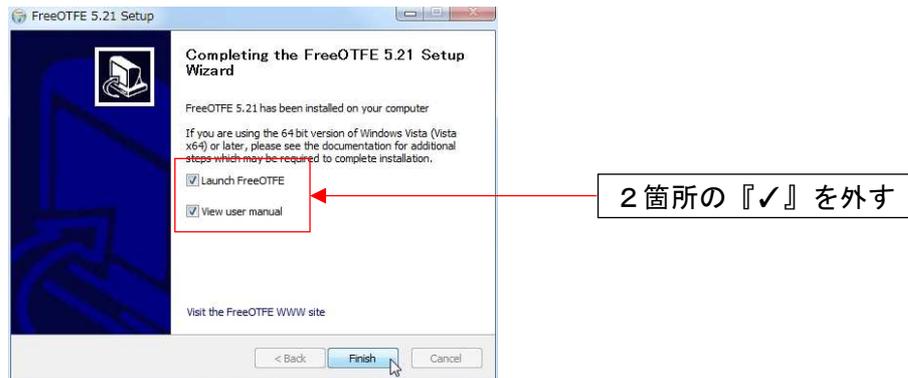
- 3) インストールが完了したら、パソコンを再起動してください。
- 4) 「FreeOTFE_5_21」をインストールします。
CD内のセットアップアイコン上で右クリックし、『管理者実行』をクリックしてください。
セットアップ画面が起動しますので、『Next』をクリックしてください。



5) 画面の指示に従い、『Next』をクリックしてインストールを開始してください。



6) インストールが完了したら、画面中央付近の『✓』を外し、『Finish』をクリックしてセットアップを終了します。



7) 4頁の手順を参考に、必ずプロパティ内の『管理者としてこのプログラムを実行する』にチェックを入れてください。

3.4 VPlayer

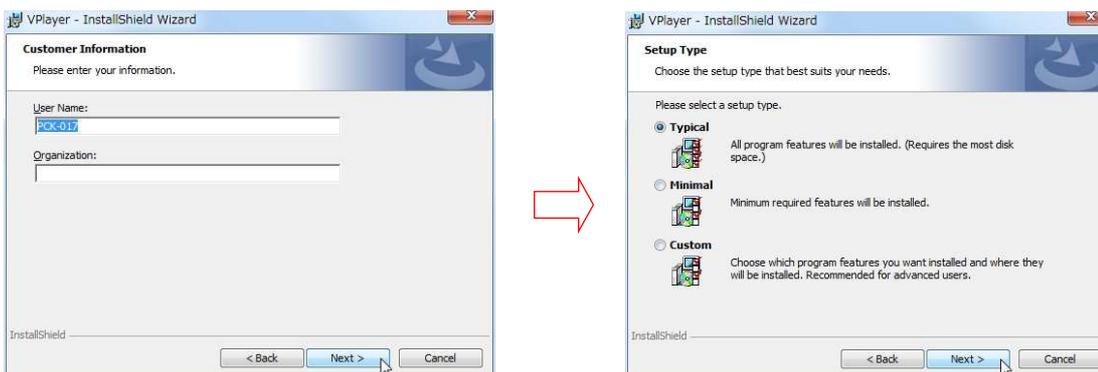
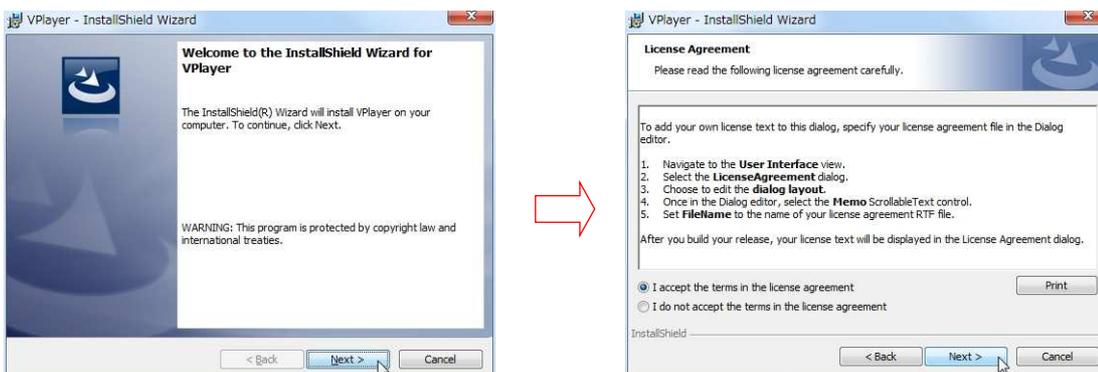
「KER-300」シリーズで録画したデータの入ったSDカードを抜き取り、パソコンで再生するためのソフトです。

「KER-300」シリーズの録画データは、「MP4 ファイル形式」ですので、Windows OSのパソコンに予めインストールされている「Windows Media Player」を最新のバージョンにアップデートすることで再生可能ですが、このソフトを使用することで、イベント時の検索や静止画キャプチャー等の操作を容易に行うことができます。必要に応じて、インストールを行ってください。

- 1) 「VPlayer」をインストールします。
CD内のセットアップアイコン上で右クリックし、『管理者実行』をクリックしてください。
セットアップ画面が起動しますので、画面が切り替わるまで待ちます。



- 2) 画面の指示に従い、『Next』をクリックします。



- 3) 『Install』 をクリックして、インストールを開始します。
完了したら、『Finish』 をクリックしてセットアップを終了します。



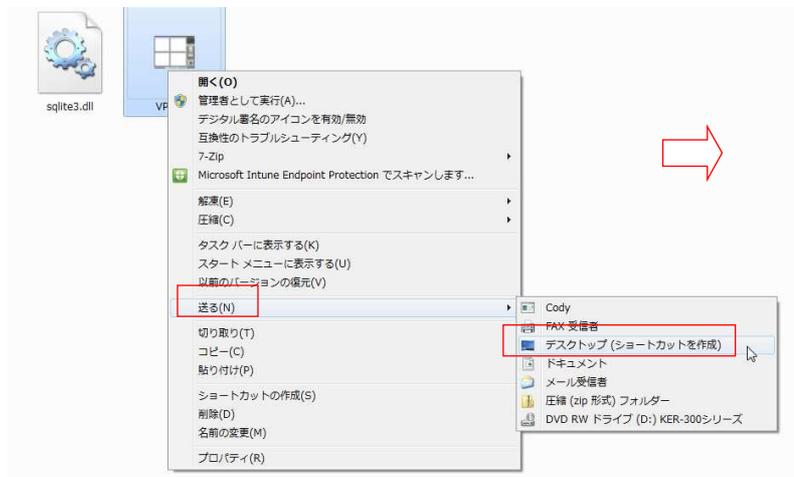
『Change』 で解凍先を変更可能



『Install』 をクリック



- 4) 「VPlayer」のショートカットアイコンを作成します。
『コンピュータ』から、「VPlayer」をインストールしたフォルダーを開きます。
(通常のインストールでは、C:\Program Files\VPlayer\)
『VPlayer』アイコンの上で右クリックし、『送る』⇒『デスクトップ(ショートカットを作成)』をクリックすると、ショートカットアイコンが作成されます。



- 5) ショートカットアイコンを選択して右クリックし、「プロパティ」を開きます。
互換性タブ内の『管理者としてこのプログラムを実行する』にチェックを入れてください。

- ※ インストール中に、パソコンの動作に異常があれば、直ちにインストールを中止してください。
パソコンの設定や、既にインストール済みの他のソフトが影響して、正常に動作しない可能性があります。

「システムの復元」で、あらかじめ作成してある復元ポイントまでパソコンの状態を戻してください。

その上で、他のパソコンでのインストールを試みることを推奨します。

○ 補足 セキュアブート機能の無効化について

お使いのパソコンのOSが「Windows8」・「Windows8.1」の場合、暗号化ソフト「Digital_sign_Disable」をインストールする際、下図の様なメッセージが表示され、インストールできないことがあります。

```
C:\Windows\system32>bcdedit.exe -set TESTSIGNING ON
要素データを設定中にエラーが発生しました。
この値はセキュアブートポリシーによって保護されているため、変更または削除できません。

C:\Windows\System32>pause
続行するには何かキーを押してください。
```

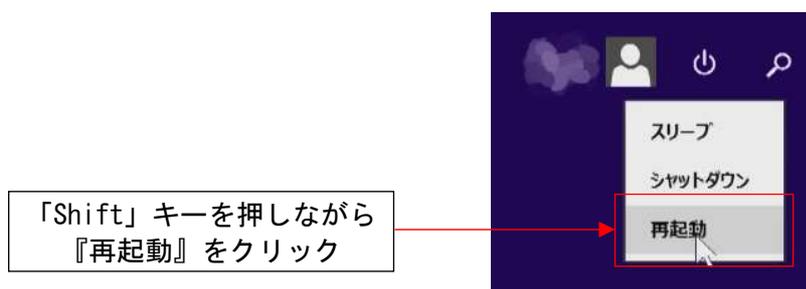
この「セキュアブート機能」により、本ソフトのデジタル署名が無いと判断されてしまうことが原因です。

パソコンの設定によって、この症状の発生の有無が異なります。

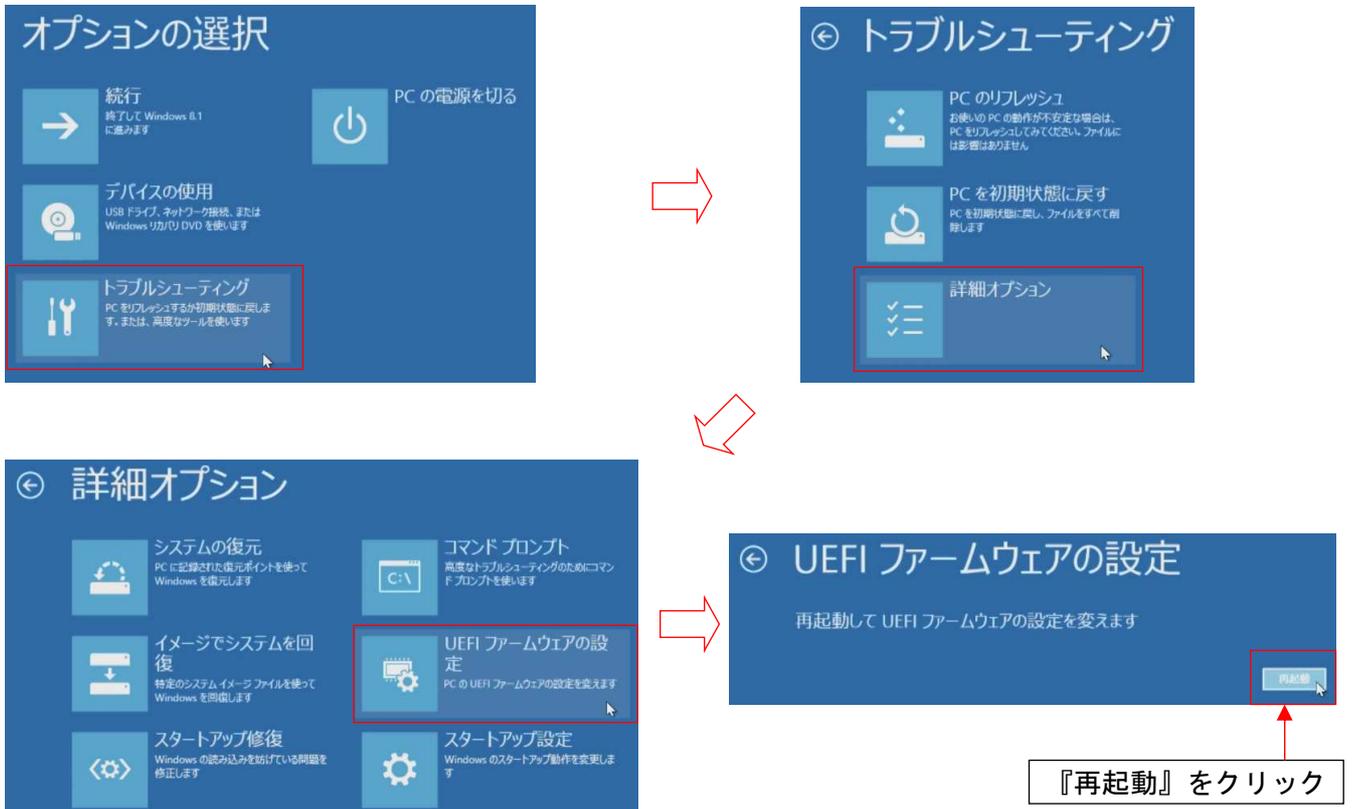
もしインストール作業中に上記のメッセージが表示される時は、以下の手順に従って、「セキュアブート機能」を解除（無効化）してください。

- 1) パソコンの起動中に、キーボードの「F1」・「F2」・「F12」・「ESC」の何れかを押します。
(パソコンのメーカーやモデルにより、異なります)

パソコンが起動中の場合は、「Shift」キーを押しながら『再起動』をクリックします。



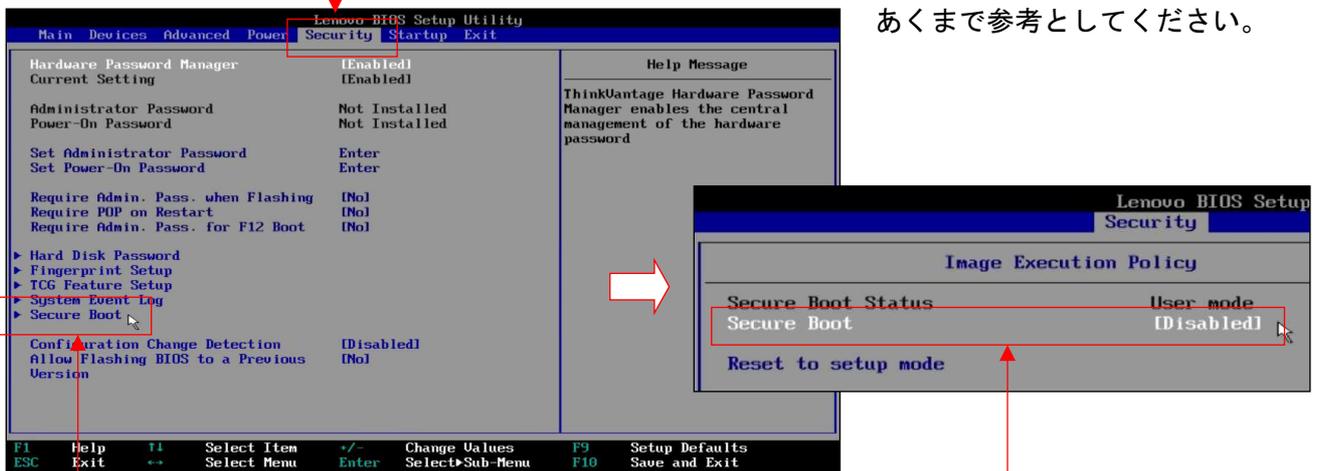
- 2) 「しばらくお待ちください」とメッセージが表示された後、「オプションの選択」画面が表示されます。
「トラブルシューティング」⇒「詳細オプション」⇒「UEFI ファームウェアの設定」の順番に進みます。
『再起動』をクリックすると、パソコンが再起動して BIOS 画面が開きます。



- 3) BIOS 画面が開いたら、「セキュアブート」の項目を『無効』に設定します。
「セキュリティ (Security)」タブ (パソコンによっては、「ブート」タブまたは「認証」タブの事があります) に移動し、「セキュアブート (Secure Boot)」を『無効 (Disabled)』に設定してください。
変更を保存して終了したらパソコンが再起動しますので、作業は終了です。

① セキュリティ (Security) タブを選択

※ お使いのパソコンの機種・バージョンにより、BIOS 画面の構成は異なります。あくまで参考としてください。

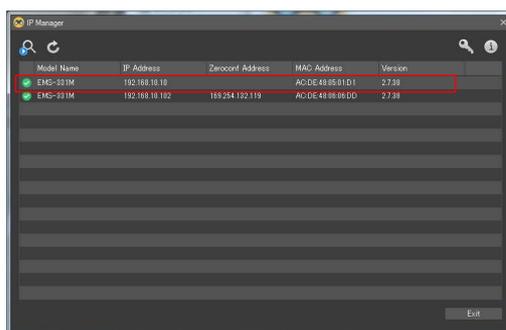


② セキュアブート (Secure Boot) を選択

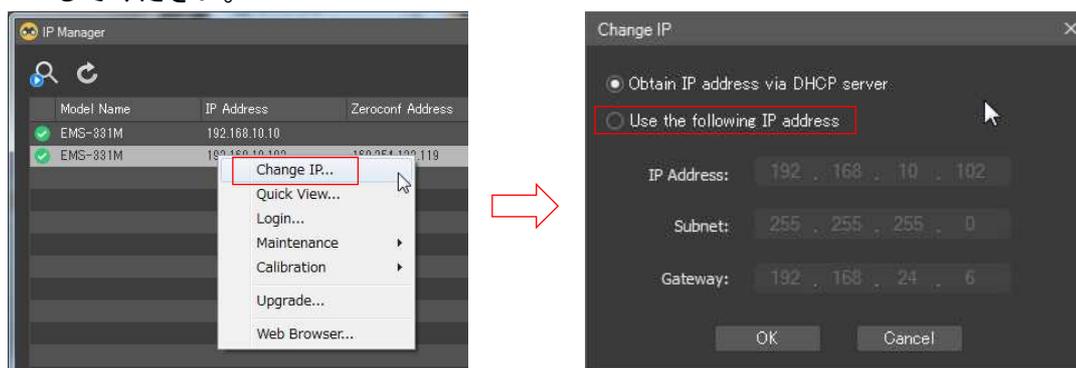
③ セキュアブートを無効 (Disabled) に設定

4. IP Manager の使用方法

- 1) 「KER-300」とパソコンまたはハブをLANケーブルで接続します。
「KER-300」に電源を供給し、起動させてください。(所要時間：1～2分)
- 2) 「IP Manager」を起動します。
カメラが正常に起動していれば、リストにIPアドレスが表示されます。



- 3) カメラのアドレスを変更する場合は、表示されているカメラを選択して右クリックしてください。



「Change IP」ウィンドウが表示されたら『Use the following IP address』にチェックを入れ、任意の『IP Address』・『Subnet』・『Gateway』を入力して『OK』をクリックしてください。
カメラのアドレスが変更されます。

- 4) 以下は、右クリックで表示されるメニューの詳細です。

- ・ Change IP : IPアドレスの設定を行います。(上述)
- ・ Quick View : ライブ映像のプレビューを表示
- ・ Login : カメラへのログイン
- ・ Maintenance :
 - ・ Factory Default 工場出荷状態の設定に戻す
 - ・ Reset ネットワーク設定以外の設定を初期化
 - ・ Reboot 再起動
- ・ Calibration :
 - ・ AF Lens Calibration 電動レンズの環境設定
 - ・ White Pixel Compensation 白潰れの補正
- ・ Upgrade : ファームウェアのアップデート
- ・ web Browser : 既定のブラウザを起動し、カメラにアクセスする

- 5) IPアドレスの変更が完了したら、表示されているカメラをダブルクリックしてください。

既定に設定されているブラウザが起動し、認証画面が表示されます。
ユーザー名とパスワードを入力して、『ログイン』をクリックしてください。

初期管理者ユーザー名 : admin、 初期管理者パスワード : admin1357

- 6) 正しいユーザー名とパスワードでログインしたら、ライブ映像が表示されます。
初回アクセス時には、アドオンのインストールを要求される場合がありますので、必ず『はい』をクリックしてください。

- | | | |
|---|--------|---|
| ① | ライブ映像 | 再生画面・設定画面からライブ画面に移動 |
| ② | 録画再生 | 再生・検索画面に移動 |
| ③ | 設定 | 設定画面に移動 |
| ④ | ログアウト | ログアウトして、認証画面に戻る（ユーザー切り替え時等） |
| ⑤ | ストリーム | ライブ配信のモードを切り替える |
| ⑥ | 画面比率 | アスペクト比の変更 ※通常は、16:9 モードで使用する |
| ⑦ | イベント動作 | 設定したイベント動作の動作/停止を切り替える（最大4種類） |
| ⑧ | モード | フォーカスモードのオート/手動切り替え
『Push AF』をクリックすると、フォーカスを自動調整 |
| ⑨ | ズーム | ズーム比（倍率）の変更 |
| ⑩ | フォーカス | フォーカスの調整 |
| ⑪ | 操作パネル | フルスクリーンや、録画の開始/停止操作等を行う |
| ⑫ | 情報 | 現在の設定状態を表示 |

5. FreeOTFE による暗号化の解除方法

ここでは、「KER-300」シリーズの暗号化について解説します。

「KER-300」シリーズで暗号化された SD カードは、パソコンで認識されません。

暗号化の解除を行うには、解除ソフト「FreeOTFE」と、「KER-300」シリーズからダウンロードする「Key ファイル」が必要です。

5.1 暗号化フォーマットと Key ファイルのダウンロード

- 1) 設定画面を開き、画面左のメニューから「レコード」をクリックします。



- 2) 『保存先』タブをクリックし、『フォーマット』をクリックすると、『フォーマット』ウインドウが表示されます。
『データ暗号化を使用します』に『✓』を入れ、『暗号化キー』及び『暗号化キーの確認』欄に半角英数字（最大 15 文字）でパスワードを入力します。
入力後、『ポート 1』の『フォーマット』をクリックして、フォーマットを開始してください。
正常にフォーマットが完了すると、「フォーマット完了」と表示されます。
2スロット型の「KER-300B II」・「KER-300D II」で SD カードを 2 枚使用している場合は、続けて『ポート 2』もフォーマットを行ってください。
完了したら、『閉じる』をクリックして『フォーマット』ウインドウを終了してください。



- 3) 「レコード」タブ内の『データ暗号化を使用します』に『✓』を入れてください。『暗号化キー』・『暗号化キーの確認』欄に、上記2) で入力したパスワードを入力します。

レコード

レコード スケジュール 保存先

保存設定

保存先はフルの場合上書き機能使用

セカンダリストレージを使用します

モード: クローン

データ暗号化を使用します

暗号化キー:

暗号化キーの確認:

暗号化キーの保存: 保存

【お知らせ】

- 映像録画はH.264コーデックのみをサポートしています

接続録画設定

連続録画を使用します

ビデオストリーム: 1

イベント録画設定

イベント録画を使用します

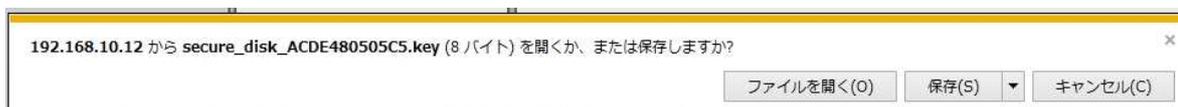
ビデオストリーム: 1

録画時間: 60 [秒]

イベント前: 0 [秒]

保存 キャンセル

- 4) 『暗号化キーの保存』右側の『保存』をクリックすると、「Key ファイル」がダウンロードできます。
この「Key ファイル」は、後述のパソコンでの暗号化解除で必要になりますので、必ず保存しておいてください。



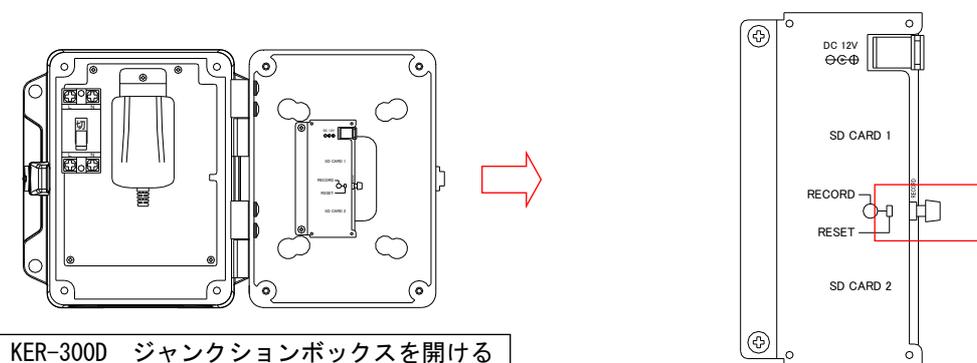
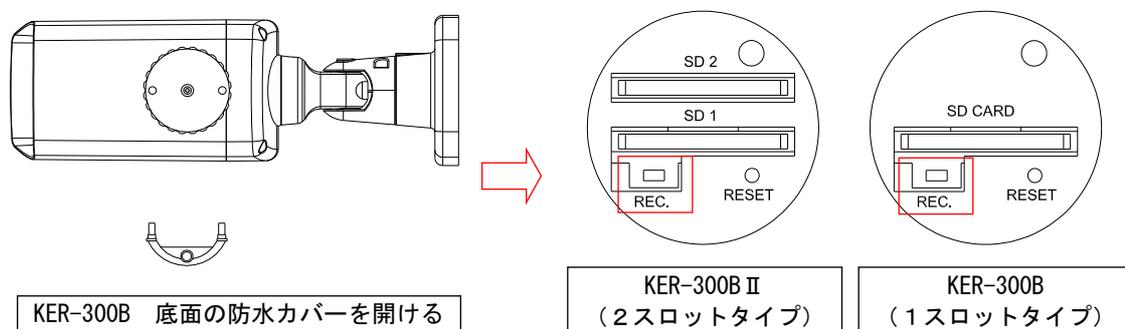
- ※ インターネットエクスプローラーの「ポップアップブロック」が有効になっていると、2)の『フォーマット』ウィンドウが表示されなかったり、「Key ファイル」がダウンロードできません。
「ツール」⇒「ポップアップブロック」に進み、『ポップアップブロックを無効にする』をクリックしてください。
操作が完了したら、一度インターネットエクスプローラーを終了し、再度機器にアクセスし直してください。

インターネットエクスプローラーにツールバー (Google、Yahoo 等) がインストールされている場合、これらツールバーの機能でポップアップがブロックされていることがあります。
ブロック機能を無効化する、または一時的にツールバー自体を無効化してください。

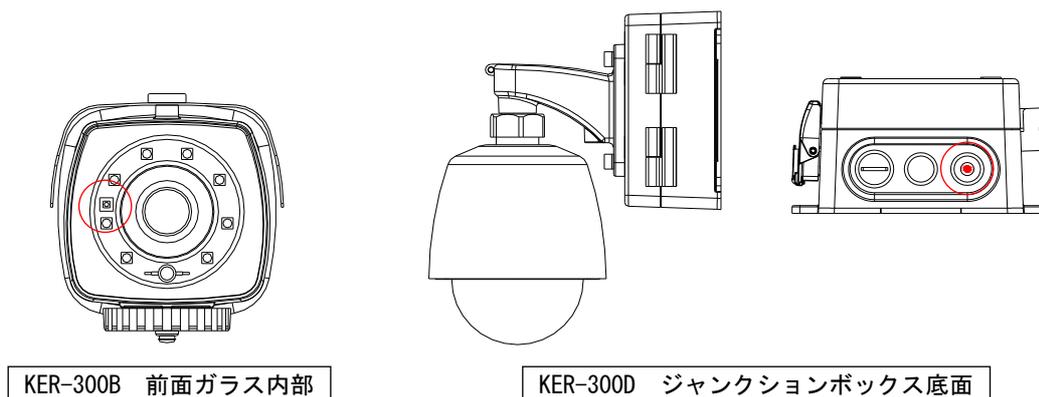
- 5) 暗号化のフォーマットが完了したら、『ライブ映像アイコン』をクリックしてライブ画面に戻ります。
 ライブ画面の『レコード』アイコンをクリックするか、『カードスロット』附近の『REC.』または『RECORD』ボタンを5秒以上長押しして、録画を開始します。
 「KER-300B」の場合は機器前面、「KER-300D」の場合はボックス底面の『録画動作表示 LED』が点灯し、正常に録画が開始されていることを確認してください。

5.3 暗号化の解除

- 1) 「KER-300」からSDカードを抜き取ります。
 『カードスロット』附近の『REC.』または『RECORD』ボタンを5秒以上長押しします。

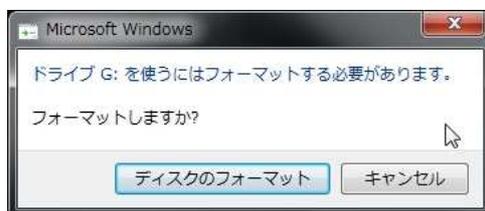


「KER-300B」の場合は機器前面、「KER-300D」の場合はボックス底面の『録画動作表示 LED』が消灯したら、SDカードを抜き取ってください。
 この操作を行わずにSDカードを取り外すと、最後のファイルが保存されないだけでなく、機器やSDカードの故障の原因になりますので、注意してください。



- 2) パソコンに、SD カードを接続します。
必要に応じて、市販のカードリーダーライターをご使用ください。
この操作を行う時は、パソコンに他の外部メモリーは接続しないでください。

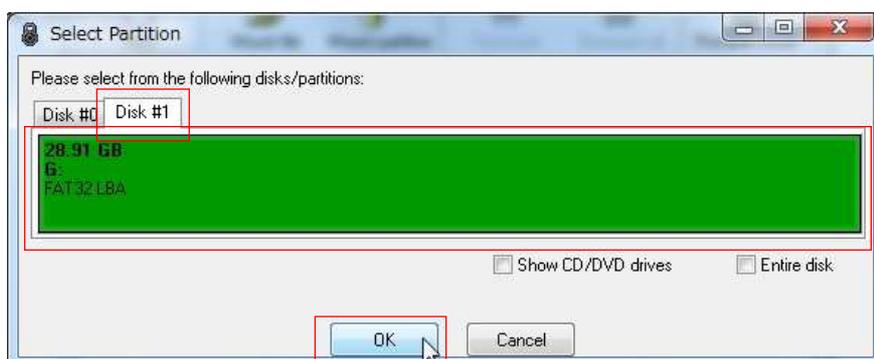
※ 前述の「認識ソフト」がインストールされていないパソコンに接続した場合、SD カードが認識できないためフォーマットを促すメッセージが表示されます。また、「認識ソフト」がインストールされていても、暗号化されている SD カードをパソコンに接続すると、同様のメッセージが表示されます。
『はい』を選択すると SD カードのフォーマットが開始され、中のデータは消えてしまいます。
この場合は、必ず『いいえ』をクリックし、絶対にフォーマットは行わないでください。
録画データが失われてしまいます。



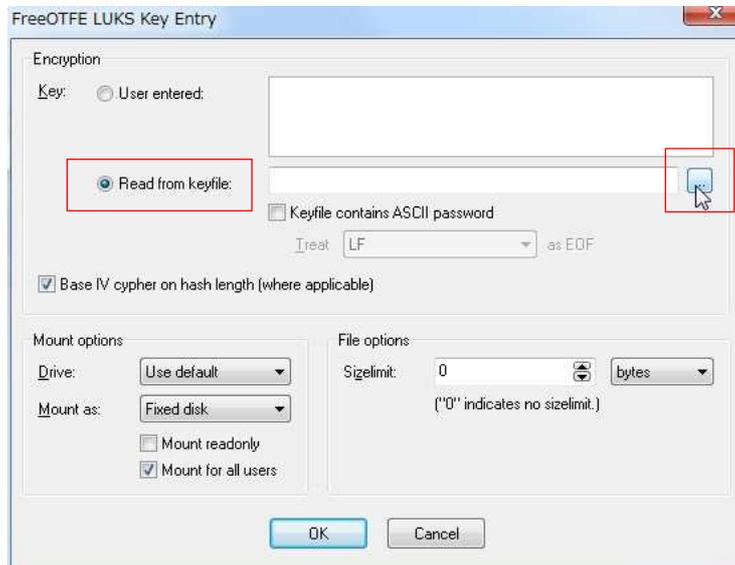
- 3) 「FreeOTFE」を起動し、『Mount Partition』をクリックします。



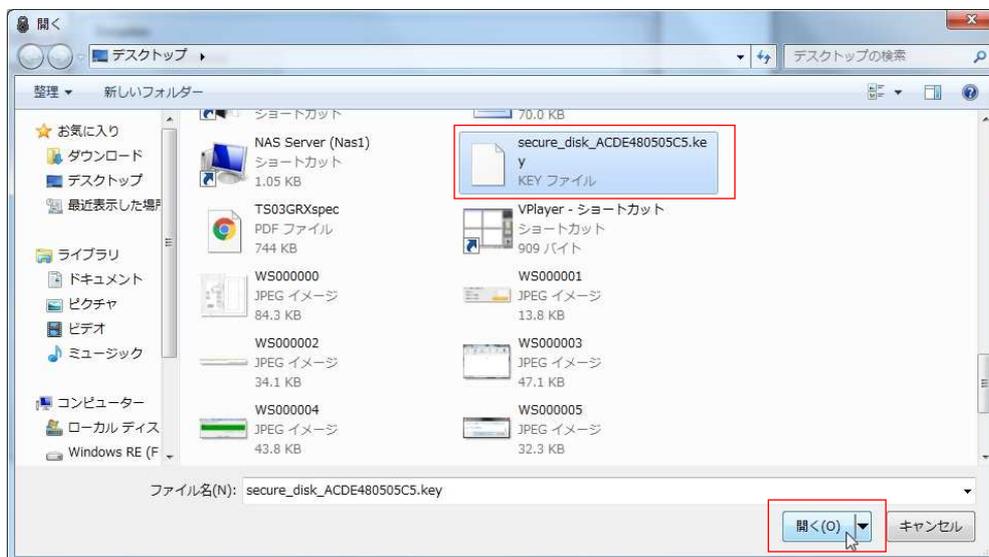
- 4) 「Select Partition」ウィンドウが開いたら、『Disk #0』(暗号化されている SD カードのドライブ) タブをクリックします。
表示されているドライブ (SD カードのドライブ) をクリックすると、濃い緑色に変わりますので、『OK』をクリックしてください。



- 5) 「FreeOTFE LUKS Key Entry」ウィンドウが表示されます。
『Read from keyfile』にチェック（●）を入れ、右端のボックス（参照）をクリックしてください。



- 6) 「開く」ウィンドウが表示されますので、暗号化キーを設定した際にダウンロードした「Key ファイル」を選択して『開く』をクリックしてください。

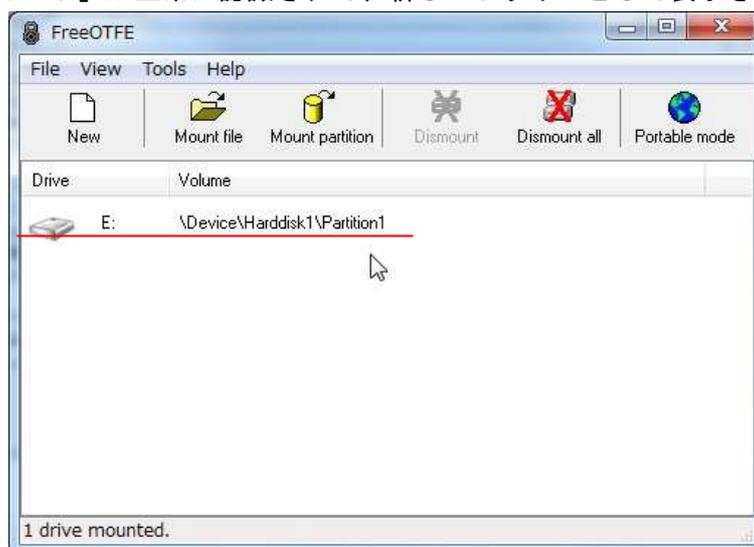


「FreeOTFE LUKS Key Entry」ウィンドウに戻りますので、『OK』をクリックします。

- 7) 正しい「Key ファイル」を使用していれば、下図のウィンドウが表示されますので、『OK』をクリックします。



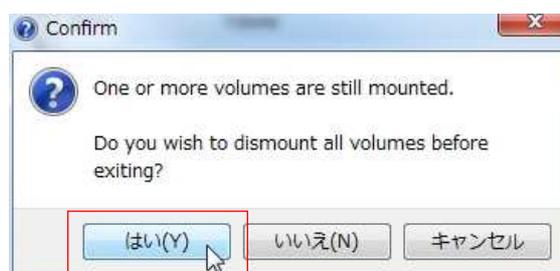
「SD カード」が正常に認識されて、新しいドライブとして表示されます。



この後は、通常のリムーバブルドライブとして、録画データの再生・コピーを行うことができるようになります。

※ 再生・コピー中は、この「FreeOTFE」は終了しないでください。
「SD カード」の認識が解除されることがあります。

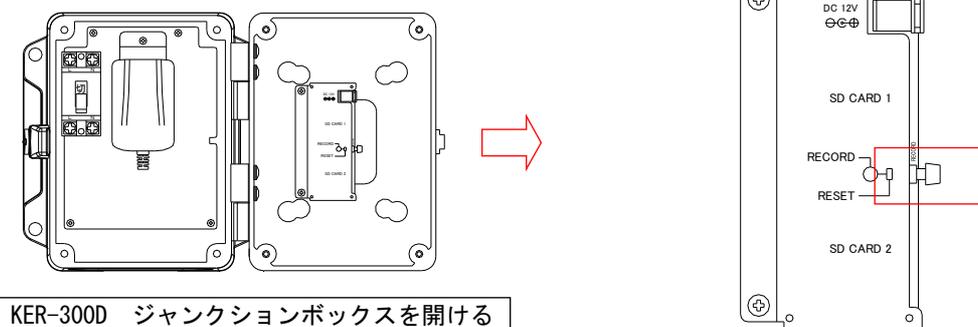
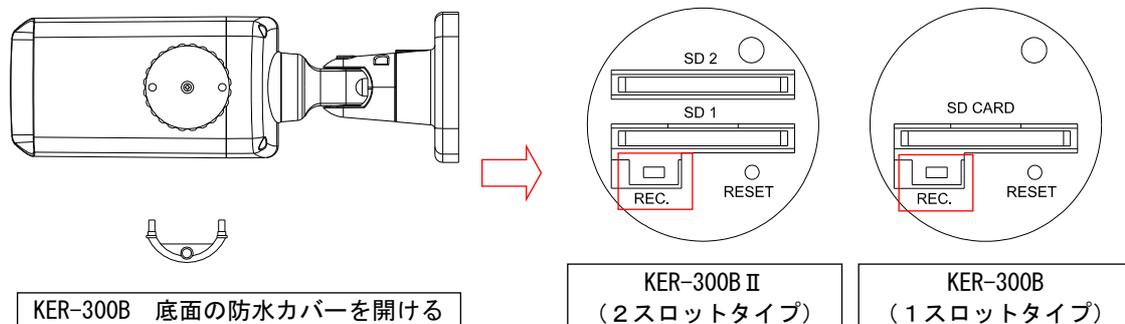
- 8) 全ての操作が終了したら、「FreeOTFE」を終了します。
ウインドウ右上の『×』をクリックし、確認メッセージが表示される場合は『はい』
をクリックしてください。
(パソコンによっては、複数回異なるメッセージが表示されます。)



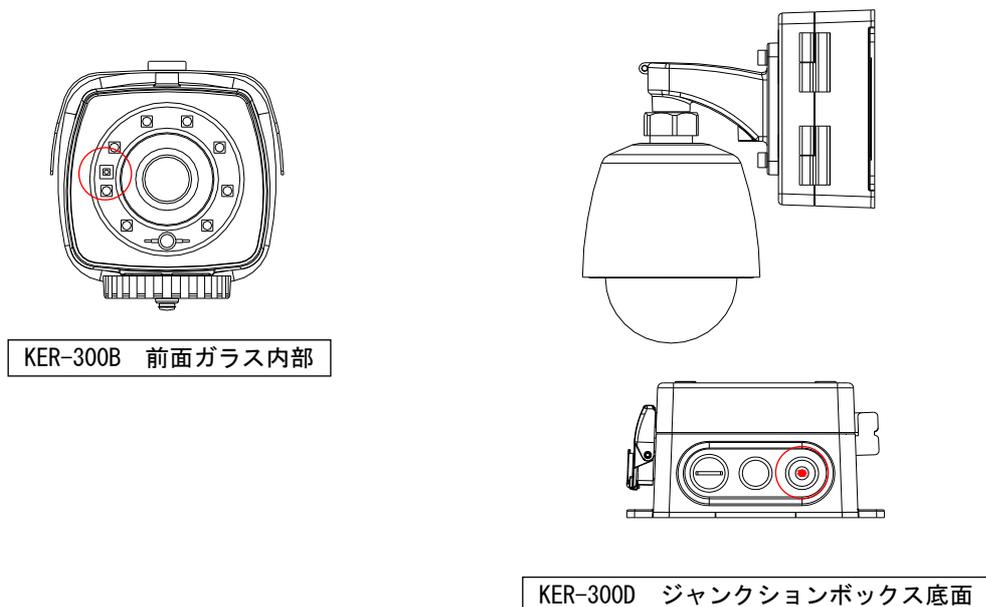
※ 暗号化した SD カード及び「Key ファイル」は、機器固有のものとなります。
したがって、他の同型機種で暗号化フォーマットした SD カードを使用する
ことはできません。
同様に、作成時のパスワードが同じでも、他の同型機種からダウンロードした
「Key ファイル」は使用できません。
それぞれ専用となりますので、ご注意ください。

6. VPlayer の使用方法

- 「KER-300」からSDカードを抜き取ります。
『カードスロット』附近の『REC.』または『RECORD』ボタンを5秒以上長押しします。



「KER-300B」の場合は機器前面、「KER-300D」の場合はボックス底面の『録画動作表示LED』が消灯したら、SDカードを抜き取ってください。
この操作を行わずにSDカードを取り外すと、最後のファイルが保存されないだけでなく、機器やSDカードの故障の原因になりますので、注意してください。



- 2) パソコンに、SD カードを接続します。
必要に応じて、市販のカードリーダーライターをご使用ください。

※ 注意

前述の「認識ソフト」がインストールされていないパソコンに接続した場合、SD カードが認識できないためフォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。

『はい』を選択すると SD カードのフォーマットが開始され、中のデータは消えてしまいます。

この場合は、必ず『いいえ』をクリックしてフォーマットをキャンセルし、「認識ソフト」がインストールされているパソコンに接続し直してください。

- 3) SD カード内には、2 個のフォルダーと 1 個のファイルが入っています。

- ・ calendar : 連続録画の録画データが入ったフォルダー
- ・ event : イベント録画（動体検知等）の録画データが入ったフォルダー
- ・ rec : VPlayer 検索用のログデータファイル



「calendar」や「event」フォルダーの中は、1 日単位のフォルダーに分かれています。フォルダー名は 8 桁の数字「西暦（4 桁）＋月（2 桁）＋日（2 桁）」で表示されています。

20151007	2015/12/12 7:28	ファイル フォル...
20151013	2015/12/12 8:38	ファイル フォル...
20151104	2015/12/12 9:12	ファイル フォル...
20151105	2015/12/12 9:13	ファイル フォル...
20151106	2015/12/12 16:16	ファイル フォル...
20151213	2016/01/03 10:32	ファイル フォル...
20151214	2015/12/14 7:00	ファイル フォル...
20151221	2015/12/21 19:00	ファイル フォル...
20151231	2015/12/31 23:30	ファイル フォル...
20160101	2016/01/01 23:30	ファイル フォル...
20160102	2016/01/02 23:30	ファイル フォル...
20160103	2016/01/03 10:30	ファイル フォル...

これらのフォルダーを開くと、30 分ごとに MP4 ファイル形式の動画データが入っています。

ファイル名は 6 桁の数字「時（24 時間表示 2 桁）＋分（2 桁）＋秒（2 桁）」で表示されています。

ファイル名が「080000」の場合、8 時 00 分 00 秒開始の動画データを表します。

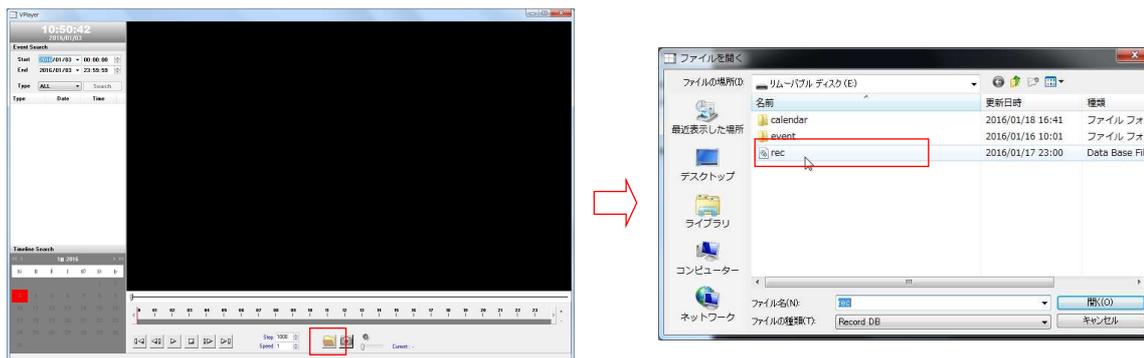
080000	2016/01/02 8:30	KMP - MP4 Audi...	263,854 KB
083000	2016/01/02 9:00	KMP - MP4 Audi...	263,716 KB
090000	2016/01/02 9:30	KMP - MP4 Audi...	263,713 KB
093000	2016/01/02 10:00	KMP - MP4 Audi...	263,718 KB
100000	2016/01/02 10:30	KMP - MP4 Audi...	263,710 KB
103000	2016/01/02 11:00	KMP - MP4 Audi...	263,718 KB
110000	2016/01/02 11:30	KMP - MP4 Audi...	263,716 KB
113000	2016/01/02 12:00	KMP - MP4 Audi...	263,724 KB
120000	2016/01/02 12:30	KMP - MP4 Audi...	263,716 KB
123000	2016/01/02 13:00	KMP - MP4 Audi...	263,708 KB
130000	2016/01/02 13:30	KMP - MP4 Audi...	263,735 KB

これらの動画ファイルは、「Windows Media Player」等の再生ソフトでも再生が可能ですので、必ずしも「VPlayer」で再生する必要はありません。
 (バージョンによっては、最新のバージョンにアップデートする必要があります)

4) 「VPlayer」を起動します。

画面下部の「」アイコンをクリックしてください。

『ファイルを開く』ウインドウが表示されたら、SDカードのドライブ（リムーバブルディスク）からSDカード内の「rec」ファイルを選択し、『開く』をクリックします。



5) SDカード内のデータを読み取り、録画データの存在する「日」が画面左下のカレンダーに緑色で表示されます。
 以下は、各操作パネルの詳細です。



- ・ イベント検索パネル

『Start』で検索開始の日時、『End』で検索終了の日時を入力し、『Type』から検索する条件を選択します。

『Search』をクリックすると、パネル下部にリストが表示されます。

① 開始日時を入力

② 終了日時を入力

③ 検索条件を選択

④ Search をクリック

⑤ 検索結果が表示される

Type 一覧	
ALL	: 全て
System	: 機器障害
Motion Detection	: 動体検知
Manual Trigger	: 手動録画
Alarm In	: アラーム入力
Network Loss	: ネットワーク障害
Tampering	: タンパー

- ・ 日時検索パネル

- ・ 時間表示バー

録画データの存在する「日」がカレンダーに緑色で表示されています。

カレンダーの「日」をクリックすると、「時間表示バー」にその日にデータの存在する時間帯が緑色で表示されます。

- ・ タイムスライダー

再生中、スライダー上のカーソルをドラッグすることで、頭出しを行います。



※ 等倍・倍速再生は可能ですが、本ソフトに逆再生機能はありません。
時間を戻す場合には、この「タイムスライダー」で戻してください。

- 再生パネル
各種再生操作を行います。



- 開く
SD カード内の「rec」ファイルから、録画情報を読み取ります。
- 静止画キャプチャー
再生中にクリックすることで、動画から静止画のキャプチャーを行うことができます。

- 6) ソフトを終了するには、画面右上の『×』をクリックしてください。
SD カードをパソコンから取り外し、「KER-300」に SD カードを戻します。
『カードスロット』附近の『REC.』または『RECORD』ボタンを5秒以上長押し、録画を再開します。
「KER-300B」の場合は機器前面、「KER-300D」の場合はボックス底面の『録画動作表示 LED』が点灯し、正常に録画が開始されていることを確認してください。